

大会宣言

岡山県労働組合会議は役員、代議員名 93 名が出席して第 25 回定期大会を成立させ、労働者・国民の暮らしを守る運動方針を代議員の積極的な発言で補強し決定しました。

大会参加の皆さん。

安倍内閣のすすめる成長戦略は一部大企業と米国の利益を優先させるだけで、国民生活と日本の将来にとって、さらには地球環境にも重大な影響を与える事がいよいよ鮮明となつていきます。安倍政権の政策を緊急停止させ、憲法に基づいた国民本位の政治の実現と、原発の収束宣言撤回など、放射能汚染水漏れに対する積極的な対応が求められています。

日本経済が長期に停滞し、東日本大震災と福島第 1 原発事故、異常気象による相次ぐ災害など、地震や災害への対策と被災地域の復興、原発事故被害者への緊急の対策が求められています。国民生活を守ることこそ政治の第一義的課題であるにもかかわらず、憲法を変えて戦争の出来る国づくりに邁進^{まいしん}しているのが安倍内閣です。集団的自衛権行使の研究を最優先課題とし、憲法をナチスドイツにならって国民に知られず改憲することが彼らの政権運営です。国民の反対運動が弱くなっているとうそぶいて TPP 協定を勝手に約束する身勝手さや、日本経済がどんなに落ち込もうとも消費税増税の強行姿勢を崩さない自民党政権の過ちは、日本の将来をいっそう危ういものにしています。

政府は社会保障の問題でも 8 月 6 日に社会保障制度改革国民会議報告の中で、自立自助の促進や国民相互の助け合い、サービスの選択性などを掲げ、更なる社会保障制度の予算削減と民間企業の参入を促進しようとしていることは国民に対する重大な裏切りです。

私たちはこれまでの闘いで、米国追従の安保条約を破棄して、憲法を暮らしに生かし、労働者・国民の生活を守るよう政府に求めて運動を発展させてきました。多くの商業団体や職能団体、市民団体との共同を模索しながら、TPP 参加阻止、原発再稼働反対の運動を展開してきました。日本航空やマツダ自動車の派遣切り裁判の支援を通して、働くものの雇用と生活を守る運動を全国の仲間と発展させ、春闘や人事院勧告をめぐる闘いでも地域経済と働く者の権利を守る立場から積極的な運動を組織して前進してきました。

大会参加の皆さん。

私たち労働組合に結集するものにとって、課題は山積しています。労働法制の更なる改悪に反対して果敢に闘い、広範な国民世論を結集する運動をつくり上げ、悪法を許さない国民的包囲網を形成しましょう。

第 25 回定期大会が日本の夜明けを切り開き、組織的にも大きな前進を勝ち取る歴史的な大会となるよう大会代議員と役員との総意として確認して、宣言とします。

2013年9月7日

岡山県労働組合会議第 25 回定期大会